

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年4月27日(2017.4.27)

【公表番号】特表2016-520855(P2016-520855A)

【公表日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-042

【出願番号】特願2016-505529(P2016-505529)

【国際特許分類】

G 02 B	5/02	(2006.01)
G 02 B	5/04	(2006.01)
G 02 B	3/00	(2006.01)
G 02 F	1/13357	(2006.01)
F 21 S	2/00	(2016.01)
F 21 V	5/00	(2015.01)
F 21 Y	115/10	(2016.01)
F 21 Y	103/00	(2016.01)

【F I】

G 02 B	5/02	C
G 02 B	5/04	A
G 02 B	3/00	A
G 02 F	1/13357	
F 21 S	2/00	4 3 1
F 21 S	2/00	4 4 4
F 21 S	2/00	3 5 0
F 21 V	5/00	5 3 0
F 21 Y	101:02	
F 21 Y	103:00	

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月24日(2017.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

相対する第1及び第2構造化表面を有する光学フィルムであって、前記光学フィルムは前記第1構造化表面上に形成された複数の伸長プリズムと、

前記第2構造化表面上に形成された複数の伸長分離分散構造と、を含み、各分離分散構造が、低分散部分に沿って配置された高分散部分を有し、

前記プリズム及び前記分離分散構造は、プリズムと分離分散構造とが一対一対応で配置される、フィルム。

【請求項2】

各前記分離分散構造について、前記低分散部分が滑らかな表面特性を有し、前記高分散部分が粗面化された表面特性を有する、請求項1に記載のフィルム。

【請求項3】

各前記分離分散構造が、前記第2構造化表面の湾曲セグメントを含み、各分離分散構造の前記低分散部分及び前記高分散部分が、前記湾曲セグメントの滑らかな部分及び粗面化

された部分をそれぞれ含む、請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 4】

各分離分散構造について、前記高分散部分が粗面化された部分であり、前記低分散部分がレンズレットである、請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 5】

各分離分散構造について、前記高分散部分がレンズレットであり、前記低分散部分が平坦である、請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 6】

各分離分散構造の前記レンズレットが、発散性レンズレットである、請求項 5 に記載のフィルム。

【請求項 7】

各分離分散構造の前記レンズレットが、収束性レンズレットである、請求項 5 に記載のフィルム。